

2026 年度後期「新約聖書学 B」講義予定表(講師:平野健治 牧師/フードコーディネーター)
 <テーマ> 『共食神学』 聖書を共食の視点から読む

●講義時間:19 時～20 時 40 分

回	毎週月曜日	学習テーマ及び内容	備考
1	10 月 5 日	人類と共食	10 月 12 日休講
2	10 月 19 日	聖書と食 関連箇所全体像	
3	10 月 26 日	聖書の食物規程	
4	11 月 2 日	旧約聖書における共食	
5	11 月 9 日	新約時代の食糧事情	
6	11 月 16 日	主の祈りと共食	11 月 23 日休講
7	11 月 30 日	罪人との共食	
8	12 月 7 日	5000 人の共食	
9	12 月 14 日	十字架前の共食	12 月 21、28、1 月 4、11 休講
10	1 月 18 日	復活後の共食	
11	1 月 25 日	初代教会における共食	
12	2 月 1 日	異邦人教会における共食	
13	2 月 8 日	実践神学における共食	
14	2 月 15 日	晩餐論と共食	
15	2 月 22 日	現代の食糧問題/まとめ	

コロナ以降、一緒に食べる「共食(きょうしょく)」の価値が見直されつつあります。本講義では聖書における共食の意味の再発見を目的とします。聖書がどのように共食を描き、またどのように食に関係をしているのかを横断的に俯瞰し、明らかにすることで、イエスの宣教をより深く理解することがゴールです。食事というテーマは聖書の周縁(中心ではない)と受け取られることが多いかもしれませんが。しかし本講義を受講することで食事というテーマを、聖書の中心的テーマ、ひとつの神学と感じることができるでしょう。イエスが食を通じて伝えようとした福音を明らかにすることができるはずです。イエス以降の時代も食と信仰に関するテーマは議論が続きました。その議論は現代の私たちにも、つながっています。この講義を通じ私たちの信仰と食事のあり方にも目を注いでゆくようになることを望みます。

テキストなし。各授業で資料を配布します。

参考書 川島貞雄『旧約聖書における食物規定ーイエスを中心としてー』2016 年、教文館。山口雅弘『生きるをい
 つくしむガリラヤに生きたイエスの共食と共生』2025 年、ヨベル社。

2026 年度後期「神学実践」講義予定表(講師:濱野道雄)

<テーマ>教会形成を考える:モデルのない時代に

●講義時間:19 時～20 時 40 分

回	毎週火曜日	学習テーマ及び内容	備考
1	10 月 6 日	オリエンテーション	
2	10 月 13 日	宣教・教会・牧師	
3	10 月 20 日	なぜ、何を、誰と、どのように宣教するか	
4	10 月 27 日	新任時と按手	
5	11 月 10 日	礼拝と説教	
6	11 月 17 日	礼典(バプテスマと主の晩餐)	
7	11 月 24 日	教会形成にかかわる諸式	
8	12 月 1 日	人生にかかわる諸式	
9	12 月 8 日	リーダーシップと執事会	
10	1 月 12 日	宗教法人・会計	
11	1 月 19 日	信仰告白について	
12	1 月 26 日	センタードセットなバプテスト教会の可能性	
13	2 月 2 日	牧師の召命と疲弊	
14	2 月 9 日	牧師の自己管理と自己理解	
15	2 月 16 日	赴任に向けて	

「神学入門」が神学の入口なら、「神学実践」は出口(もつとも、ここからまた新しい歩みが始まります)となります。本校では同じ名前の科目を複数回受講して単位取得ができますので、内容(関連し合っていますが)を3種類考えています。それぞれ構築(組織)神学、宣教学、教会形成論を中心としています。本年度は教会形成論(神の宣教に基づく、教会の働き、牧師の働きとは何か)を中心に、具体的に考察しつつ、これまでのモデルが変わりつつある教会形成、牧師の働きを共に考えましょう。

テキスト 金子敬『バプテスト教会における牧師の働き 一牧師の現場から』日本バプテスト連盟 宣教研究所、2009・宣教研究所編『バプテスト教会において豊かな式を形作る言葉と祈りのためにー視点と参考例』日本バプテスト連盟 宣教研究所、2015・島田恒、濱野道雄『教会のマネジメントー明日をつくる知恵』、キリスト新聞社、2020

参考書 コピーして配布

2026 年度後期「ヘブル語 A」講義予定表（講師：城倉啓）
 <テーマ>ヘブル語文法の「いろは」をみんなで楽しく学びましょう

●講義時間：19 時～20 時 40 分

回	毎週火曜日	学習テーマ及び内容	備考
1	10 月 6 日	アルファベット 母音記号 音節 固有名詞	
2	10 月 20 日	人称代名詞 冠詞 前置詞	
3	10 月 27 日	接続詞 名詞	
4	11 月 10 日	人称語尾 副詞 存在・非存在 間投詞 形容詞	
5	11 月 17 日	指示代名詞 数詞	
6	11 月 24 日	動詞の基本 語根 視座 人称・性・数	
7	12 月 1 日	動詞の基本 語幹	
8	12 月 8 日	未完了視座のバリエーション 命令形 指示形 願望形	
9	1 月 5 日	未完了視座のバリエーション 分詞 不定詞	
10	1 月 12 日	動詞の人称語尾 統語	
11	1 月 19 日	喉音動詞 I アレフ動詞	
12	1 月 26 日	I ヌン動詞 I ヨッド動詞	
13	2 月 2 日	二語根動詞 IIIヘー動詞	
14	2 月 9 日	II-III動詞	
15	2 月 16 日	まとめ	対面授業

ヘブル語は見たこともない形をしています。右から左に読みます。まるで暗号、とっつきにくく感じますね。でも、とっつきにくいことは、ほぼそれだけです。ギリシャ語に比べれば文法も簡単。語彙も断然少ないのです。この講義では旧約聖書の主要な原語であるヘブル語の全体像を把握します。辞書が引けるようになります。そして後期の原典講読の講義の準備をします。それは「暗号解読」の基礎技術を習得する学びです。

テキスト：『超入門ヘブル語のススメ』（2023 年再刷以降のもの）いのちのことば社、城倉啓著。

参考書：『ヘブル語語彙集』（2023 年）いのちのことば社、城倉啓著。

2026 年度後期「教会音楽概論」講義予定表(講師:江原美歌子、小松澤恵)
 <テーマ>礼拝を豊かに～教会音楽を用いて

●講義時間:19 時～20 時 40 分

回	毎週金曜日	学習テーマ及び内容	担当講師
1	10 月 9 日	オリエンテーション、教会音楽とは何か	小松澤恵
2	10 月 16 日	教会音楽の働きと音楽(礼拝、宣教、伝道)	小松澤恵
3	10 月 23 日	教会音楽の働きと音楽(ミニストリー、教育、奉仕)	小松澤恵
4	10 月 30 日	聖書の中の礼拝と音楽	小松澤恵
5	11 月 6 日	礼拝とは何か	小松澤恵
6	11 月 13 日	会衆賛美	小松澤恵
7	11 月 20 日	礼拝の音楽	江原美歌子
8	11 月 27 日	賛美歌(歴史を中心に)	小松澤恵
9	12 月 4 日	賛美歌の方向と機能	江原美歌子
10	12 月 11 日	バプテストの賛美、新生讃美歌	江原美歌子
11	1 月 8 日	現代の賛美の動向(賛美歌の言葉、教会音楽の役割)	江原美歌子
12	1 月 15 日	賛美歌実践(選曲)	江原美歌子
13	1 月 22 日	教会音楽の課題と今後(礼拝のパワーポイント使用と賛美歌集、オンライン利用、著作権)	江原美歌子
14	1 月 29 日	礼拝の計画(主日ほか)と備え	江原美歌子
15	2 月 5 日	礼拝のチーム 牧師、礼典、音楽関係者	江原美歌子

教会音楽の目的、重要性、使命を踏まえ、礼拝・宣教・教育・牧会の中での役割を学んでいきます。聖書(旧約、新約)から賛美の基本、姿勢を押さえ、実践では、礼拝での賛美・会衆賛美の意義、賛美歌の選曲、『新生讃美歌』の特徴、使い方について学びます。現代の礼拝と教会音楽における課題を整理し、今置かれている教会の礼拝、教会形成を考えていきます。最後に牧師、教会音楽奉仕者として、礼拝を支える働きであるチームの役割を確認し、より豊かな礼拝をつくりあげるための学びとしていきます。

テキスト『キリスト者の礼拝 神学と実際』(キリスト新聞社)、『新生讃美歌ブックレット』(日本バプテスト連盟)